令和７年度　天皇杯・皇后杯　JVA 全日本バレーボール選手権大会
北海道ブロックラウンド　競技・審判上の確認

１　競技規則について

本大会は２０２５年度公益財団法人日本バレーボール協会６人制競技規則及び競技要項により実施する。

ネットの高さは男子２ｍ４３ｃｍ、女子は２ｍ２４ｃｍとする。　競技は全て３セットマッチのトーナメント戦でおこなう。今大会は、中体連・高体連特別ルールは適用しない。今大会使用球は男子モルテン製・女子ミカサ製を使用する。

２　チーム構成について

１）　チームは、有効にエントリーされた部長・監督・コーチ・マネージャー・トレーナー各１名、選手１８名以内とする。必要に応じてドクター、通訳１名を加えることができる。そして、試合ごとに１４名以内（２名以内のリベロを含む）の選手をエントリーすることができる。

なお、監督・コーチ・マネージャーのうち１名以上は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認バレーボールコーチ１～４のいずれかの資格を有する者であること。

２）　部長・監督・コーチ・マネージャー・トレーナーのチームスタッフに変更がある場合は、代表者会議終了時までに今大会を通してチームスタッフ変更届を提出することによって、変更することができる。

３）　選手は１８名エントリーとし、申し込みのあとからの変更を認めない。コンポジションメンバーは試合ごとに１４名以内を選抜し、各チームは前試合の１セット終了後（第１試合は開始３０分前）までに本部競技担当者まで提出し確認を受ける。（ユニフォームを確認する場合がある）

試合が連続する場合は、試合終了後速やかに提出すること。なお、コンポジションメンバーシート（構成メンバ表）は競技運営側で準備します。

４）　外国人選手の登録は２名までとし、試合ごとのコンポジションに記載できる外国人選手は２名とする。したがってベンチ入り２名、オンザコートも２名とする。ただし、Ｖリーグ所属チームについてはＶリーグ規定を適用し、その内訳は外国人選手２名＋アジア枠選手の計１名とする。

５）　リベロのエントリーについて

①　正規選手が１２名以下の場合、リベロの数は０名～２名。

②　正規選手が１３名または１４名の場合、リベロは１名～２名。（天皇杯皇后杯ルール）

６）　チームキャプテンと監督の両者は、チームメンバーの行為や規律に対して責任を負う。リベロは、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなることができる。

３　ベンチへの着席について

ベンチには有効にエントリーされた部長・監督・コーチ・マネージャー・トレーナー・通訳各１名、選手１４名以内の計２０名以内の着席を認める。（ドクターについては、実行委員会が指定した席に着席する）着席の際、チーム役員は直径６㎝程度の円台（色は自由）の役職マークを左胸部につけること。また、公式練習の際、コンポジションメンバー以外のエントリーメンバーがボールキーパーとして参加することを認める。その際は、試合用ユニフォーム以外のチームで統一された服装を着用すること。

4　試合開始時刻について

1）　第１試合開始予定時刻は、両日ともに１０時とする。

2）　体育館の開場時刻は８時とし、８時３０分から９時３０分までは全チームを対象として、ネットボールを使用したウォーミングアップを認める。ただし９時３０分からは第１試合のみの練習とする。第２試合については第１試合終了後１９分間の練習後、プロトコールを行う。(第１試合がコートオフィシャルのため)

第３試合以降は追込みとする。なお、片方で試合を行っている場合は隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパーを配置すること。

3）　同一チームが連続試合となる場合は、２０分後にプロトコールを開始する。

4）プロトコール終了後、１５分経過してもチームがゲームコートに現れない場合はその試合を没収する。

5）　各試合の当該チーム合同練習は時間設定をする。

5　コートワイピングについて

1）　コート内の選手が各自用意しているタオルで、ラリー終了からサービス許可までの間に行うこと。ただし、コンポジションメンバー以外のエントリーメンバーを最大２名クイックモッパーとして配置することを認める。服装は、試合用ユニフォーム以外の統一された服装とし、位置は監督席と記録席の間、２名の場合はベンチの両端に各１名配置すること。なお、クイックモッパーはモッピングだけを目的とし、応援は慎むこと。

2）　タイムアウト中、およびセット間については、ベンチにいる交代選手またはクイックモッパーがモップを使っても構わない。

6　リベロについて

1）　リベロは、他の選手と対照的な色のユニフォームを着用すること。

2）　サービスのホイッスルの後に行われるリプレイスメントは、サービスヒットの前であれば拒否されないが、そのラリー終了後に口頭でゲームキャプテンに注意される。同一試合内にリプレイスメントの遅れが再発した場合は、プレーは直ちに止められ、遅延行為に対する罰則が適用される。しかし、その時のリプレイスメントは、罰則の段階に関係なく認められる。

3）　ラリーがノーカウントとなった時は、リベロのリプレイスメントはできない。

4）　リベロが１人しかいなくなった場合や、１人しか登録されていない場合では、そのリベロがプレーできなくなったときやプレーできなくなったと宣言されたときには、監督（監督不在の場合はゲームキャプテン）はその時点でコート上にいない他の選手（リベロと入れ替わった選手を除く）を、試合終了までリベロとして再指名することができる。

7　ラリー中に選手が負傷し、ラリーが中断され、ノーカウントとなった場合、その選手の選手交代は認められるが、タイムアウトは認められない。

8　ユニフォームについて（シューズ・サポーターを含む）

1）Ｖリーグ所属チームについてはＶリーグ規定を適用し、その他のチームについては JVA 規定を適用する。

2）ＪＶＡが公認するメーカー製以外のユニフォームを着用する場合にはそのロゴを露出しないようにすること。露出する場合はその企業ロゴをマスキングすること。

3）パワーパンツ、アンダーシャツ等を着用する場合は、ユニフォームからはみ出してはいけない。ジャージ、パンツ、ソックスの色とデザインは（リベロを除き）チームで統一されなければならない。

4）医療を目的としたサポーター、コルセット類はプレー上危険、プレーに有利に働く場合を除いて規制はしない。しかし、明らかに色が違う医療用サポーターとコルセット類（腰用等）はユニフォームの下に着用すること。

9　チーム役員について

1）　チーム役員は、ジャケットを着用するか、統一されたトレーニングウェアを着用しなければならない。

2）　監督がジャケットを着て、コーチ・マネージャーが統一されたトレーニングウェアを着てもよい。

3）　選手と違うトレーニングウェアを着用する場合は、チーム役員で統一されたものを着用すること。

10　その他

1）　ベンチには飲料、救急用具などの必需品以外を持ち込まないこと。ボールケースはベンチには置かず、コートの最も端（後方）に置くこと。

2）　今大会のコートオフィシャル６名（ラインジャッジ、点示）について、第１試合については第２試合のチームから、第２試合以降は、前試合の敗者が行うが、決勝戦のみ大会役員で行う。

3）　コートワイピング用タオルの交換用を持参のこと。

4）　今大会は、代表者会議終了後、代表者にて開会式を行う。

また、北海道ラウンド優勝チームは、記念撮影があるのでビクトリーＴシャツを着用すること。

5）　北海道ブロックラウンド優勝チームにはファイナルラウンドへの通過証を授与する。またチームコメントの提出を１５分以内に提出すること。

6）　各チームは、水分補給など熱中症対策・体調管理に十分留意すること。